

保護者や地域の願いを受け止め、よりよい学校づくりへ

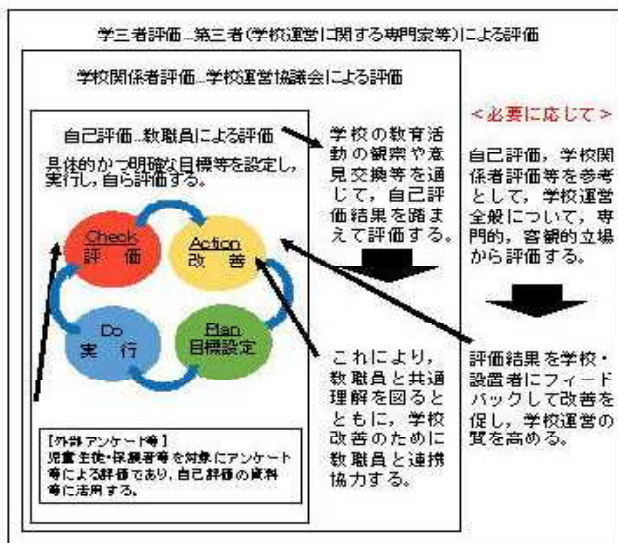
10月23日(水)に、第3回学校運営協議会を開催しました。主たる議題は、「学校評価」についてです。

式次第

- ①部会報告(「和寒町CS通信」第2号参照)
- ②令和元年度の学校評価について
- ③研修会環流

学校評価は、子どもたちが安心して生き生きとした学校生活を送ることができるよりよい学校づくりに資するものです。ですから、学校評価の取組を通して、学校の教育活動の成果や課題を把握することができ、成果の見られた取組の一層の充実を図り、課題を解決していくことで、よりよい学校づくりを推進していくことができます。

また、限られた時間や人員で、必要度や緊急度の高い教育活動や、教育効果の高い活動に重点的に取り組む上でも重要な役割を果たすもので、教育の質の保証・向上、学校運営の改善、信頼される開かれた学校づくりを目的とするものです。学校評価のイメージは、次のようになります。



これまで、和寒小学校・中学校は、予め設定した「㊦㊧㊨㊩㊪」になぞらえた目標(「わっとさむ31」)や具体的計画に照らして、教職員自らの取組を評価する「自己評価」と、学校運営協議会などが行う「学校関係者評価」を行い、保護者アンケートや児童・生徒アンケートは「自己評価」の中で活用してきました。その過程で大事にしていることは、評価を行うための「P」→目標設定、「D」→実行、「C」→評価、「A」→改善 という流れです。これまで学校では、教育目標に沿った年間計画を立てるも、その具体的成果はあまり問題にされることはありませんでした。しかし、教育の個性化・特色化が各学校に求められるようになり、学校マネジメントの重視とともに学校評価の必要性が叫ばれ始め、学校評価が導入され今日に至っています。

今後、各校では1月中旬を目途に学校評価結果をまとめ次回の学校運営協議会で諮っていきます。教職員はじめ、関係者が達成感や有効性を感じながら、学校を改善し、子どもに成果が還元される学校評価が行われることを切に願っています。

街中に「子ども110番の家」のステッカーが貼られました。子どもの安全・安心を見守る活動にご協力をいただきありがとうございました。今は、都会だから…、田舎だから…の区別なく犯罪が起きます。忌まわしい事件が起きる前の予防対策こそ、子どもの安全・安心を担保することができます。これからの和寒町を担う大事なたからを、みんなで守っていきましょう。尚、「子ども110番の家」のステッカー貼付に係わる問い合わせは、教育委員会までお願いします。